札幌圏域における地域医療構想の推進方針（案）

資料１

○　札幌圏域は、多くの地域で、2025年以降も2040年に向けて高齢者人口が大幅に増加する点、公立・公的医療機関のほか多数の民間医療機関が医療を提供している点において、他の地域と大きく異なり、調整会議等行政が主導する場において、個々の医療機関の役割・機能等について議論を深めていくことは困難である。

○　また、圏域内でも、例えば、札幌市以外の市町村では、患者の受療動向（入院自給率、流出率の高い地域など）が大きく異なる状況。

例）入院自給率：恵庭市 71.9%、千歳市 66.8%、江別市 56.2%、石狩市 32.8%、北広島市 32.0%、当別町 16.7%、新篠津村17.3%

流出先の高い地域：
- 江別市 ⇒ 厚別区（11.4%）、中央区（9.1%）
- 恵庭市 ⇒ 中央区（7.6%）、千歳市（6.0%）
- 石狩市 ⇒ 手稲区（22.4%）、東区（14.8%）
- 新篠津村 ⇒ 江別市（35.5%）、南空知圏域（35.4%）
- 千歳市 ⇒ 恵庭市（11.8%）、中央区（5.9%）
- 北広島市 ⇒ 厚別区（18.4%）、中央区（11.4%）
- 当別町 ⇒ 東区（34.9%）、当別町（16.7%）

○　札幌圏域では、2040年に向けて、各医療機関における中長期的な視野に立った検討・取組に資するよう、まずは、受療動向等を踏まえつつ、各地域で顔の見える連携体制（互いの現状・課題を継続的に共有する場）を構築することを「重点課題」としたい。

札幌圏域における地域医療構想の推進体制

資料１

＜親会＞

札幌圏域
地域医療構想
調整会議

札幌圏域全体における
構想の進捗状況を情報共有。

今後の課題や議論の進め
方について意見交換。

調整会議の
状況を共有

各地域の取組状況
や課題を共有

＜部会等＞

札幌市 医療提供体制
検討会議

江別地区
意見交換会 等
（江別市、石狩市、
当別町、新篠津村）

千歳地区
医療機関等部会
（千歳市、恵庭市、
北広島市）

エリアごとに定期的な
情報共有・意見交換を実施。

各地域の
取組状況や
課題を共有

＜実態を踏まえた意見交換の場＞

※ 一例

札幌市各区

江別エリア

石狩エリア

千歳エリア

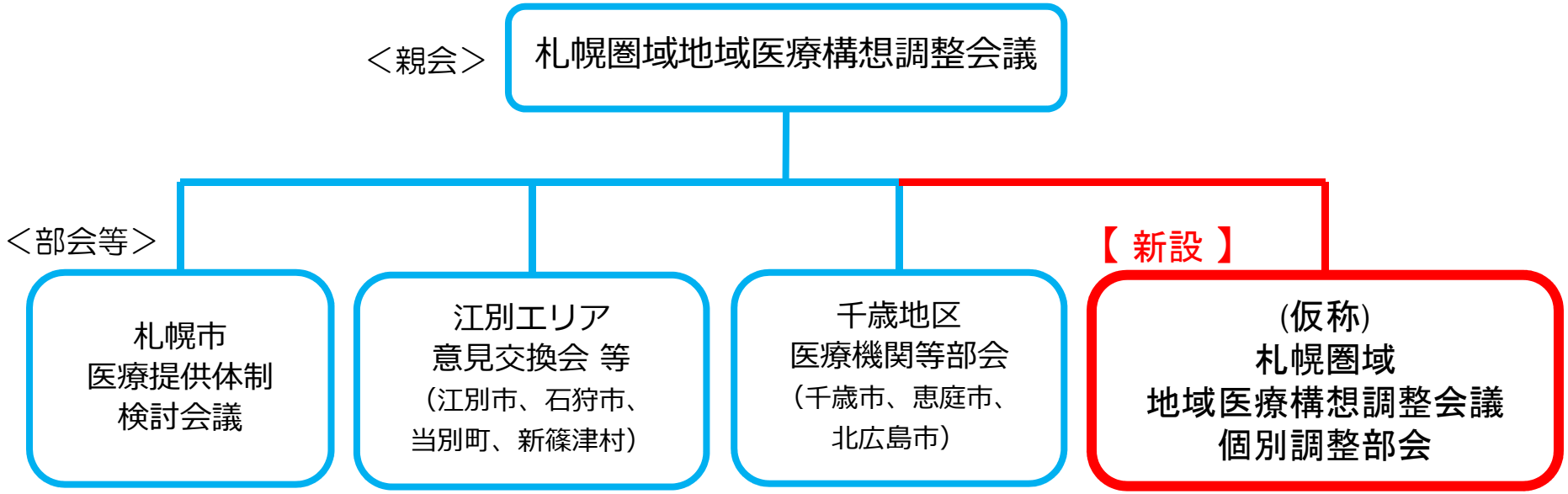
恵庭エリア

北広島エリア

受療動向等の実態を踏まえ、
エリアを越えた情報共有
・意見交換の場を設定

札幌圏域 地域医療構想調整会議 体制見直し（案）

資料１

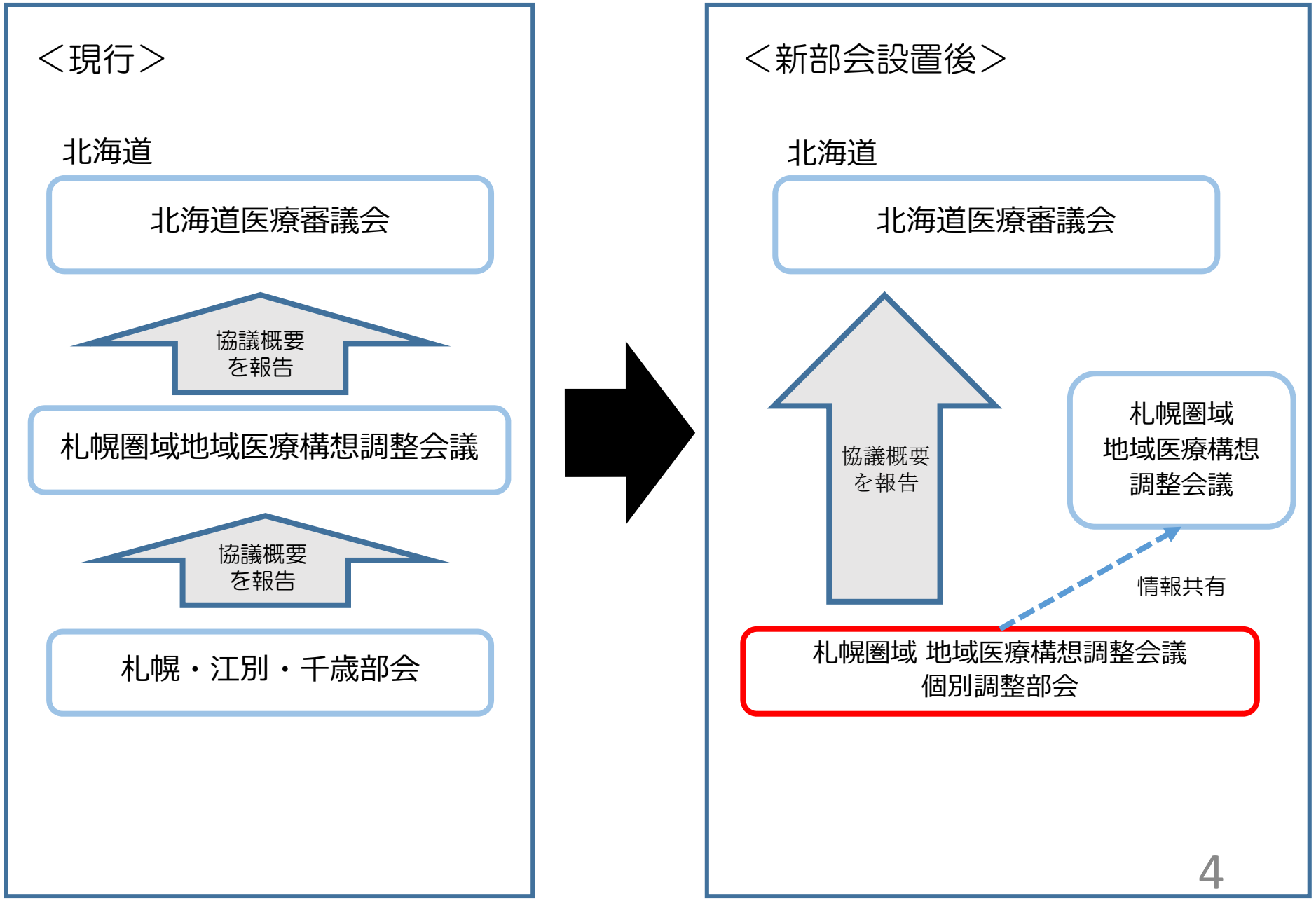


【新設・仮称】札幌圏域 地域医療構想調整会議 個別調整部会について

○　協議事項
　届出有床診、過剰な病床機能に転換する医療機関の申請、休止中の病棟の再稼働、地域連携推進法人設立に関する意見聴取　等

○　新設部会の委員（想定）
　各郡市医師会、病院協会、有床診協議会、公立病院（市立札幌、江別市立、市立千歳市民）

○　意見の取扱
　「札幌圏域地域医療構想調整会議」の意見として取り扱う。（部会への権限委譲）
※　調整会議には情報共有する。

病床等に係る協議の進行イメージ

資料１